

— 伸びよう 伸ばそう 青少年 —

青少年ふくい

令和6年10月発行 vol.165



令和6年度「少年の主張」コンクール福井県大会 発表者と審査員の方々

【8月21日(水)・越前市いまだて芸術館】



CONTENTS

- ◆会員総会の開催
県民会議会長表彰・感謝状の贈呈
青少年育成推進指導員の委嘱…………… 2・3
- ◆青少年育成研究大会の開催…………… 4
- ◆少年の主張コンクール…………… 5～7
- ◆お知らせ 青少年健全育成福井県民大会
青少年の非行・被害防止全国強調月間中の取り組み
ほか…………… 8

第12回(令和6年度) 県民会議会員総会

とき 令和6年6月15日(土)
ところ 福井県生活学習館 多目的ホール

6月15日(土)、県生活学習館において、第12回会員総会を開催。会員や市町民会議関係者など約150名が参加しました。



田村洋子県民会議会長



来賓の田村光幸
県防災安全部副部長

会員総会では、はじめに、田村洋子県民会議会長が、日頃の青少年育成活動への取り組みや支援に対し感謝を伝え、「運動がさらに広がるよう協力をお願いしたい。」とあいさつ。来賓の福井県防災安全部 田村光幸副部長からは、「ご祝辞をいただきました。続いて、県民会議会長表彰の授与、感謝状の贈呈が行われた後、「活動状況報告」に、既に理事会、評議員会で承認されている令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算について理事、事務局が説明を行い、理解を求めました。



- 重点目標**
大きな夢を持ち、個性が輝く青少年の育成
- 重点実施項目**
- 1 「大人が変われば子どもも変わる運動」の推進
 - 2 青少年の安全安心環境づくりの推進
 - 3 市町民会議等と連携した青少年育成活動の推進



県民会議会員総会の席上、令和6年度会長表彰の授与、感謝状の贈呈を行いました。

会長表彰 受賞者の皆さん

- 【団体・グループの部】
- 村岡町連合壮年会 (勝山市民会議)
 - 坂井木部地区まちづくり協議会
 - 伝承事業実行委員会(坂井市民会議)
 - 坂井西警察署少年警察協助力員会 (県少年警察協助力員会連合会)

【育成指導者の部】

- 加藤 紀子 (福井市民会議)
- 坂下 航 (福井市民会議)
- 櫻井 庄二 (福井市民会議)
- 千秋 利榮 (福井市民会議)
- 安達 益宏 (敦賀市民会議)
- 杉田 信悦 (大野市民会議)
- 原田 由次 (勝山市民会議)
- 鈴木 直美 (鯖江市民会議)
- 塩谷 かおり (越前市民会議)
- 下野 芳子 (坂井市民会議)
- 東 成穂 (坂井市民会議)
- 坂田 裕幸 (県子ども育成連合会/福井市)
- 北川 雅美 (ガールスカウト県連盟/福井市)
- 坂本 幸一 (県スポーツ少年団/敦賀市)
- 山下 修 (県スポーツ少年団/福井市)
- 今村 昭広 (日本海洋少年団連盟/小浜市)
- 北村 正美 (県少年愛護センター連絡協議会/福井市)
- 爲國 信一 (県少年愛護センター連絡協議会/越前町)
- 西村 美恵子 (県少年警察協助力員会連合会/福井市)
- 松原 美智子 (県少年警察協助力員会連合会/小浜市)

地域や団体で、青少年育成に尽力いただいている方々です。

益々のご活躍を期待しています。

- 会長感謝状 受領者の皆さん**
- 牧野 治生 (福井市)
 - 荻野 由香理 (大野市)
 - 坪内 悦子 (越前市)
 - 林 亮一 (坂井市)
 - 浅井 保子 (永平寺町)

県民会議会員として、長年ご支援くださる方々に、感謝状を贈りました。

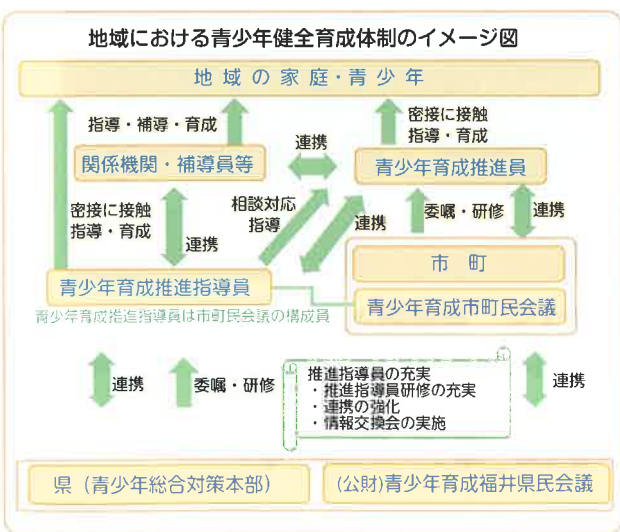


福井県青少年育成推進指導員の皆さん

(任期：令和6年4月1日から令和8年3月31日)

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名			
福井市	片矢 明	福井市	山口 藤章	勝山市	三屋 次男	敦賀市	生田 健一	小浜市	北村 則之			
	三谷 昌誠		二本木俊英		越前市		大平 成明		大橋 由武	金山 秀範		
	加藤 英明		奥越ブロック		兼守 光		丹南ブロック		齋藤 勇人	池田町	鳥居 昌巳	高山 俊之
	徳永 芳久		福井ブロック		藤田美紀子		永平寺町		松原 武範	南越前町	中村 麗子	橋本 正和
	東山 雅秀		坂井ブロック		堀江 俊子		あわら市		堀江 俊子	越前市	黒木 健二	山澤 友樹
	田中 求		丹南ブロック		中嶋 由昭		中嶋 由昭		菅原 誠	越前町	爲國 信一	西崎 勉
	竹下 隆英		丹南ブロック		北野 修一		北野 修一		熊野 悦子	敦賀市	林 健司	宮崎 律子
	嶋田 吉昭		丹南ブロック		白川 貴文		白川 貴文		深川 岳史	敦賀市	安達 益宏	前田 英一
	須見佐知子		丹南ブロック		石津 直哉		石津 直哉		永宮 勲	敦賀市	幸光 隆	前田 和敬
	小林 誠一		丹南ブロック		前川 俊弘		前川 俊弘		森下 護	敦賀市	林 幸代	西野 仁貴
山本 正男	丹南ブロック	後藤勝日光	後藤勝日光	前田 明美	敦賀市	山本 宗治	柚木崎一也					
松山 定裕	丹南ブロック	数下 誠治	数下 誠治	三田村淳市	敦賀市	林 幸代	荒木 茂夫					
竹内 将人	丹南ブロック	杉田 信悦	杉田 信悦				團 好孝					
岸上 義輝	丹南ブロック	福田 義一	福田 義一				若狭町 立井 涼子					
東郷 功	丹南ブロック	藤田 芳徳	藤田 芳徳									
山本 俊夫	丹南ブロック											

網掛け：新任の方



各市町民会議と連携を図りながら、地域のリーダーとして、ご活躍ください。



福井県青少年育成推進指導員に 74名を委嘱

会員総会に続いて、福井県青少年育成推進指導員委嘱状交付を行いました。推進指導員は、市町からの推薦により、福井県青少年総合対策本部長(福井県知事)と県民会議会長が委嘱。任期は2年で、令和6年度は委嘱替えの時期となります。委嘱状交付式では、推進指導員一人ひとりの氏名が読み上げられた後、代表して福井市の片天明さんに田村県防災安全部副部長が委嘱状を手渡しました。また、青少年の現状や推進指導員の活動などについて研修会も行い、理解を深めていただきました。



令和6年度 少年の主張コンクール 福井県大会の結果

◇知事賞の山口さんの作品は、福井県代表として(独)国立青少年教育振興機構に推薦しました。原稿・映像審査を経て、中部・近畿ブロックの代表(3人)に選ばれた場合は、全国大会で(11月24日(日)・東京)発表を行います。
◇11月16日(土)、勝山市で開催する青少年健全育成福井県民大会では、「少年の主張」の発表(2名)もありです。ぜひお越しください。

福井県知事賞 「普通」を乗り越えて 人を変える力	越前市南越中学校 3年 山口 世愛
優秀賞 国際ソロプチミスト福井会長賞 手話でつながる国と人	坂井市立三国中学校 3年 山崎 彩夏
福井ライオンズクラブ賞 漢字を「手」で書こう	福井市足羽中学校 3年 面 悠斗
福井新聞社賞 私と父の日常	福井県立高志中学校 3年 福島つばさ
NHK福井放送局賞 命を大切に	勝山市立勝山中部中学校 2年 石井みくる
FBC賞 大切で、大事な弟	敦賀市立松陵中学校 1年 西村 直真
福井テレビ賞 私の挑戦	越前市南越中学校 3年 岩野 百々
(公財)青少年育成福井県民会議賞 勉強する意味	敦賀市立栗野中学校 2年 西本 俊介



令和6年度 少年の主張コンクール福井県大会

8月21日(水)、越前市いまだて芸術館で、46回目となる「少年の主張コンクール福井県大会」を開催。参加者5,442人(30校)から選ばれた9人が、それぞれの想いを発表しました。
全員の発表後、すぐに審査会が開催され、各賞が決定。知事賞には南越中学校3年の山口世愛さんが選ばれました。

令和6年度 福井県青少年育成研究大会

「生きづらさ」とウェルビーイング～アフターコロナに大人ができること～



講演

はじめに、コロナ禍(令和2~4年度)・アフターコロナ(令和5年度~)の子ども達の変化などについて、福井工業大学基盤教育機構 教授 荒木史代氏の講義を聴き、現状の理解に努めました。

- コロナ禍・・・感染拡大防止の対応で学校生活が変化→子ども達の変化
 - ・小中高等学校における暴力行為の発生件数が増加傾向となった(対教師、生徒間、対人、器物破損)
 - ・いじめの認知件数が増加
 - ・小中高等学校における不登校児童・生徒が増加
 - 主たる要因は「無気力・不安」が最も多い など
- (詳細は「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」(文部科学省)をHPでご確認ください)
- アフターコロナ・・・学校でも家庭でもインターネットの利用時間が増加
 - 心配されること
 - ・SNSをきっかけとした事件・事故、被害 など
 - 子ども達は簡単に被害者や加害者になり得るネットの世界を生きている —



- コロナ禍を体験した子ども達にできること・・・
- ・子ども達を直接支える — 見守り
- ・子ども達を支える人を支える など

グループワーク

講演の後、参加者はグループに分かれ、子ども達が変わったと感じることや子ども達のために私たち大人ができることなどについて、体験談や行っていること、感想や意見を出し合いました。

○子ども達のためにできること・・・(主な意見から)

- ・リアル対話、リアル体験、リアルふれあいの場づくり
- ・祭りへの参加など、地域での交流、異世代交流の機会を増やす
- ・イベントの企画、運営を一緒に行う
- ・居場所づくり



- ・気軽なコミュニケーションを図る(あなたのことを気にかけているよ!)
- ・適切な距離感(傾聴する、共感する)



- ・見守り
- ・登下校の時間に合わせて犬の散歩を行い、声掛けをする
- ・声かけをすることで、名前を呼びあえる関係、注意できる関係を目指す



- ・大人もSNSについて学ぶ
- ・大人の生き様をみせる



ご参加、ありがとうございました。



令和6年度「少年の主張」コンクール福井県大会



知事賞の山口さん



県民会議会長賞の山下さん



国際ソロプチミスト福井会長賞の山崎さん



福井ライオンズクラブ賞の面さん



福井新聞社賞の福島さん



NHK福井放送局賞の石井さん

熱心に発表を聴く南越中学校の皆さん。そのほか、保護者や関係者などにご来場いただきました。



発表を聴く審査員の先生方



FBC賞の西村さん



福井テレビ賞の岩野さん



県民会議賞の西本さん

銀賞

やってみよう 挑戦精神 大切に

大野市富田小学校 松山 和樹
松山 紀夫

銀賞

ぼくの未来 どうなってんの わくわくだ

坂井市立丸岡南中学校 三田村祐希

令和6年度 少年の主張コンクール福井県大会

知事賞



越前市南越中学校 3年 山口 世愛

「普通」を乗り越えて

私たちが日常の中で、よく使っている「普通」という言葉。その言葉の意味や重みを考えてことはありませんか。「普通はこうする」「や」「普通は持っている」「などの言い回しを私たちは口頃よく使っています。国語辞典で「普通」という言葉を引いてみると、「普通」という言葉は「特別に変わったところのないこと。当たり前であること。私は幼い頃から、母に『普通』という言葉は使ってほしくない。』とよく言われてきました。当時はその母の言葉の意味をよく理解できていませんでしたが、小学生の頃のある出来事をきっかけに私はその言葉の意味を考えさせられたのです。

当時、クラスに授業中に指名をされても、なかなか発言できない友人がいました。その子がある日の授業で先生に指名されました。でもその子はいつも通り、意見を言い出せず、ずっとうつむいて黙っています。「自分や他の子たちは、はっきり発言できるのに、なぜこの子は普通にできないのかな。」その時私は心の中でそう思っていました。すると、周りの子たちが「普通に言えばいいんだよ。」「大丈夫。普通でいいよ。」と言い出しました。私はそれを聞いて、「普通」って言ったやだめなんだっ！」とはっとしました。でも、同時に「普通」はみんな使っている言葉なのに、なぜ母はだめと言っているという疑問は残ったままでした。

中学二年生の冬のある日、私の友達が、「人間って一人一人が絶滅危惧種みたいなもんだよね。」と言いました。その友達にとっては、何気ない一言だったかもしれませんが、私の心には大きく響きました。絶滅危惧種とは、絶滅の危機にある生物種のことです。私たち「ヒト」という生物は絶滅危惧種ではないけれど、一人一人の命には限りがあります。だから人間も個々として考えると絶滅危惧種と言えるのかもしれない。自分も友達も家族も一人一人に個性があって「普通」ではない、

唯一無二のかけがえのない存在なのです。この世界にいる人の数だけ個性はあって、それらは全部尊重されるべきなのです。

国語辞典に記載されていた、「普通」の意味は間違っていないでしょう。でも、私は「普通」も個性と同じく人の数だけあると考えます。自分の中で「普通」という基準をつくっておくことは生きていく上で便利かもしれないけれど、それを誰かに押し付けるのはその人の個性を潰して、苦しめていることと同じだと思っています。自分が当たり前だと思っていることが、一歩外に出ると当たり前ではないという意識をもって過ごすことが大切なのではないでしょうか。

最近メディアなどでよく目にする「多様性」という言葉。個性を尊重する上で、とても大切な考え方です。国籍、性別、障がいの有無、宗教や価値観の違い。人間と人間には共通点以上に相違点があると思います。でも、その相違点をも尊重し合える、そんな社会を私たちがつくってきたいです。例えばLGBTQの人たちも結婚できたり、国籍に関係なく仕事を選べたり、文化や宗教などの違いを認め合えるような社会を思い描いています。私は、大多数の人の意見と自分の意見が異なっていて、自分の意見に自信をなくすことがよくあります。それでも、私たちの考え、価値観は尊重されているのです。

私は自分の考えに自信を持って一生懸命生きていきたいです。それと同時に、周りの人の考えや意見も尊重したいです。そうすることで、誰もが生きやすい世界になることを願っています。

願いを果たする第一歩として、私は、「みんなが愛せる学校づくり」をテーマにし、一人一人が居心地のよい学校を目指して日々生徒会活動を行っています。生徒会の立会演説会では、みんなが愛せる学校をつくるために個性を尊重したいと話しました。学校という集団の中ではどうしても、多数派の意見が「普通」とされます。でも、その「普通」に捉われすぎて、学校生活を窮屈に思わないようにしたいという想いが私にはありました。

これらの経験を通して、いつも母に言われていた言葉の意味について自分なりの答えに辿りつきました。「普通や常識とは自分の知識や経験の範囲内の基準であって、それが全ての人に共通するわけではない。だから、自分のものさしだけで、物事を判断してほしくない。」という母の想いが込められているのだと。

「普通」を乗り越えて、一人一人を大切に「多様性」へと繋がる未来を、今を生きる私たち自身の手で創っていきたいのです。誰もが愛せる世界になることを願っています。

令和6年度 少年の主張コンクール福井県大会

(公財)青少年育成福井県民会議会長賞

人を変える力



越前市南越中学校 3年 山下 桂乃子

みなさんは、努力する人かっこいいと思っただけではありませんか。私は何度もあります。あの日の彼女の姿は、私の考えを変えてくれるきっかけになったのです。

今からちょうど一年ほど前にあった、夏の吹奏楽コンクール前の部内発表会のことです。この発表会は、それまで練習してきたコンクールの曲を、初めて保護者の前で発表する、部の中に緊張感が漂う行事の一つです。その日は、ソコを担当している先輩が休んでしまい、先輩と同じパートである私の友人が代わりに吹くことになりました。彼女は内向的な性格で、あまり目立つことが好きなタイプではありません。本番まで一、二時間ほどしかなく、新しく入部した一年生や部員の保護者、先輩までもが注目するソコ。どれだけ緊張したことでしょうか。私には想像できないほどです。

そして本番を迎え、彼女のソコの出番が来ました。聴いている全員がその音に集中する張り詰めた空気の

中、彼女の音が音楽室に響きます。この短時間で、本気で練習したことが伝わってくる努力の音。彼女はソコを吹ききりました。全ての演奏が終わわり、保護者も帰って、楽器の片付けをしている時、私は彼女に声を掛けに行きました。

「すごいね。かっこよかったよ。」一、二時間しかない練習で、緊張しながら、初めてのコンクールの初めでのソコ。そしてあの仕上がりに、それだけでも十分すごいことなのに、彼女は悔しそうに涙を流していました。その涙を見た時、なんで私はいこんな言葉しか掛けてあげられないのだろうと思ったと同時に、この子の足を引っ張りたくない、私の音で支えてあげたい、そう思いました。その涙を、私は忘れないでしょう。

彼女は今でも努力し続け、この夏にあった最後のコンクールでのソコも必死に練習していました。その姿に手を引かれるように、一緒に演奏をしている私達も、より練習に励むようになりまし。初めて、全員で

合奏した時、彼女のソコを聴いて全員の目の色、意識がガラッと変わったような気がしました。この夏、全員がやる気に満ち溢れていたのも、彼女だけでなく、彼女の姿に感化された仲間が本気で取り組んでいたからです。

私も同じように、彼女が努力する姿を見て、もっと頑張りたいと思い、勉強も部活も今まで以上に本気で取り組みようになりました。でも、満足できるような結果は出ませんでした。みんながどんどん先に行ってしまうような気がして、挫けそうになることも何度もありました。私は頑張っても意味がないんだ。そんな風に考えてしまう時期もありました。

そんな時、「チャンスは準備された心に降りたつ。」という言葉に出会いました。この言葉は、結果が出ず、なかなか立ち直ることができなかった私の心を支えてくれたものです。努力は必ず報われると言われることもありますが、実際はなかなか報われません。いつ報われるのかも誰にもわかりません。それでも、今ここで諦めてしまったら、一生追いつけないし、絶対に満足できる結果が出ることもない。準備をしなければチャンスも来ない。だったら今は、いつかの報われる日を信じて準備を、努力を続けるしかないじゃないか。そんな風に私の背中を強く押してくれた言葉を胸に、部活の練習も、日頃の勉強も諦めずに続けることが

できました。

こうやって私が今、努力を続けられているのも、彼女の努力を続ける姿を見てきたからです。努力はなかなか報われない、それを知っているからこそ、彼女を、努力する人を、何よりもかっこいいと思いました。あの時の彼女の姿が私に頑張るきっかけをくれたように、次は私がみんなを引っ張っていきける存在になれるよう、精一杯努力しています。努力することには、周りをいい方向に引っ張る力、そして自分に自信をつける力があります。努力は報われないこともあるけれど、続けることに意味がある。たとえ、報われなかったとしても、努力した時間は絶対に裏切らない。絶対に自分の力になる。そう信じて、私は彼女のように努力を続けていきます。



11月子供・若者育成支援推進協調月間
(秋のこどもまんなか月間)

令和6年度

青少年健全育成福井県民大会

大きな夢を持ち、個性が輝く青少年の育成
～ふるさとを未来につなげよう～

とき 令和6年11月16日(土)13:30～16:00

ところ 勝山市民会館(勝山市元町1-5-16)

- ・開会式
- ・表彰式(知事表彰・知事感謝状)
- ・「少年の主張」の発表、継続取組校への感謝状贈呈
- ・活動発表
勝山高校吹奏楽部・おおの城まつり演奏チーム「音人」・勝山左義長ばやし保存会
- ・大会宣言

参加無料

事前申込をお願いします。



主催:福井県青少年総合対策本部・(公財)青少年育成福井県民会議 主管:(公財)青少年育成福井県民会議奥越ブロック

薬物は犯罪



薬物から青少年をまもる!
夏休みが始まる7月下旬から約1か月間、福井駅前のハピリンビジョンで、薬物防止啓発CM(1回15秒・期間中1、2、7、4回)を上映しました。
※子供・若者育成支援全国強調月間である11月には、本映像をYouTubeのインストリーム広告としても配信されます。

青少年の非行・被害防止! 一斉補導活動
夏休み中の青少年の非行防止や犯罪被害を防ごうと県青少年総合対策本部などが県内各地で行う一斉補導活動に、県民会議の役員等も参加しました。
7月19日(金)、県庁での出発式を終え、福井駅周辺を巡回。中高生などに声をかけながら非行防止のリーフレット等を配りました。



登下校の安全・安心を! 子ども重点見守りデー
地域の大人による子ども達への見守り活動の拡がりを目指し、県は「子ども重点見守りデー」の活動を実施。
6月17日(月)、越前市花笠小学校の児童の下校に、田村県民会議会長、小玉越前市市民会議会長も同行し、見守り活動を行いました。

7月:青少年の非行・被害防止全国強調月間

—主催:こども家庭庁—

●寄付 ありがとうございます。
国際ソロプチミスト福井様



7月22日(月)、国際ソロプチミスト福井 会長(当時)三浦恵美子様からご寄付をいただきました。ありがとうございます。
国際ソロプチミスト様からは継続したご支援をいただいております。深くお礼申し上げます。

●県民会議加入のお願い
青少年育成運動をご支援いただく会員を広く募っています。

年会費(二口)

個人3千円

団体3千円

企業1万円

※詳しくは県民会議事務局まで

※県民会議の年会費は、寄付と同様、一定の条件のもと、所得税等税制上の優遇措置の対象となります。

●会費の納入のお願い

令和6年度県民会議会費をまだ納入いただけていない会員の方は、お早めに納入をお願いします。(振込または、事務所に直接お届けください)すでに納入いただいた皆様、ありがとうございます。

「青少年ふくい 第165号」

令和6年10月発行

編集発行

(公財)青少年育成福井県民会議

〒910-0003

福井市松本3-16-10

(県職員会館ビル2階)

FT AXL (0776) 20-10527

E-mail: seisyounen@fukukeminkaig.jp



てるけど いつも思ってる「ありがとう」
「ありがとう」 思っている事が嬉しいよ

坂井市立三国南小学校 古屋 凛
古屋 千賀